

ドライビング上達の

ヒント満載 特別号

レブスピード5月号

2025年3月26日発売(奇数月26日発売) 特別価格 1810円

REV/SPEED

Vol.
388

5

2025
May

堤 優威 伊東黎明 奥本隼士 三井優介

ドライビング

最新上達法

絶対
速くなる
上手くなる

ベテランだって盗みたい 若手プロの速さの秘密

FLシビック最前線



特別付録DVD
副音声
木下みつひろ
マニアック
解説

青木孝行が筑波コース2000で試す

車高調サスキット実力検証&使いこなし術



FL1 シビックRS

RSならではの魅力を引き出す

STRUT TOWER BAR Front
2万1450円



左右のストラットをバーで結合することでボディの振れを抑えるタワーバーは、ハンドリングの向上に効果的。ブリッツではアルミ中空シャフトを採用し、軽量かつ高剛性に仕上げている。ブラック特殊コートで質感を高めている

DAMPER ZZ-R Spec DSC PLUS
(開発中)

減衰力調整機能や単筒式ダンパーを備えた人気のフルスペック車高調のRS用を開発中。ロアブラケット径が異なるなど、前期型との相違点があることもあり、専用セッティングが施される。もともと、コンセプトは変わらず、ストリートでの快適性とスポーツ性能の両立、マイルドでありながら、軟らか過ぎず、姿勢を安定させる方向でセッティングが進められる予定

BIG CALIPER KIT II
26万4000円～



スポーツとサーキット走行には欠かせないブレーキ強化。制動力を高め、ダイレクトなペダルタッチを実現するのは筑波サーキットアタックでも採用されたビッグキャリパーキットⅡで、フロント用を設定。高剛性を鍛造キャリパーにφ330の大径スリットローターを組み合わせる。パッドはストリートとレーシングから選択可能



Power Thro
7万400円

カブラーオンの手軽さでパワーアップとレスポンスアップを実現するパワースロは純正圧力センサーの制御によるブーストアップ機能と、25モードから選べるスロットルコントロール機能を兼ね備える。FL1のパワーチェックではRS(M T車)で21.6ps/37.1Nm、CVT車では20.1ps/37.4Nmのパワー & トルクアップを得ている。低速トルクが大幅に増し、かつ高回転までしっかりパワーがついてくる

NUR SPEC CUSTOM EDITION
20万5700円～



好みに合わせてテールエンドを交換することができる保安基準適合マフラー。メインパイプはφ50、テールはφ101.6の4本出しタイプ。テールエンドはカーボンレッドやチタンカラー、ステンレスのほか、新色のフォードカーボンも用意。MT車専用で、ブリッツのリアアンダースポイラー装着車に対応

AERO SPEED R-CONCEPT

フロントリップスポイラー
6万6000円(LEDなし) / 9万3500円(LED付き)
リアアンダースポイラー
7万7000円



FRP製のフロントリップスポイラーは両サイドにラインLEDをあしらったバージョンも用意されている。同じくFRP製となるリアアンダースポイラーは、4本出しテールのニルスペックカスタムエディションとの同時装着により、いっそう迫力のあるリアビューを構築できる

FLシビック最前線

2021年8月(タイプRは2022年9月)からの現行型シビックが人気を集めている
しかもタイプRのみならず、1.5LターボのEXやLX、2024年9月追加のRSも含めて
カスタマイズやスポーツドライビングの素材となり得ている
決してひと筋縄ではいかない車種だが、ここではその最前線をレポート

日常からワクワクできるメニューを FL1/FL5の両方で提案

FL5はデビューと同時にデモカーを導入
FL1もSA浜松やA PIT東雲と共同で開発を進め、新たにRSをデモカーも追加
先代のFK8とFK7も多くのカスタマーに支持されていたが
現行も同じ展開で、ユーザーライクなパーツやメニューをリリース
ストリートをメインに、サーキットも楽しめるといのが、コンセプトだ

BLITZ



快適性は譲れない
そのうえで走りを楽しめる
ブリッツではタイプRのデモカーをいち早く導入し、パーツ開発を進めてきた。スポーツ性能はもちろん、ユーティリティも高いレベルにあるクルマだけに、そんな素性のよさを崩すことなく、パフォーマンスの底上げを図ってきた。
目指すのは、街乗りが快適で、サーキット走行会も存分に楽しめるオールラウンダー。「高級車」に相応しいクオリティの高さもこだわりのポイントだ。
FL1のEXやLX用パーツも充実。スーパーオートバックス浜松やアビットオートバックス東雲との共同プロジェクト「Road to SFC」(前号までのレブスリート誌面連載。WEBのREVIEWS EDITIONやYouTubeのREVIEWS EDITIONチャンネルで公開中)も記憶に新しい。さらに、FL1では2024年9月に追加されたRS用のパーツ開発も進めている。
エアロパーツの「エアロスピードRコンセプト」や、車高調サスキット「ダンパーZZ-Rシリィズ」のほかインテークやエキゾースト、パワー系アイテムも人気。その最新ラインアップを、ご覧いただきたい。

AERO SPEED R-CONCEPT
フロントリップスポイラー
 6万8200円 (FRP) / 18万7000円 (CFRP)
フロントリップスポイラー
 6万8200円 (FRP) / 18万7000円 (CFRP)
フロントアーチディフューザー
 4万1800円 (FRP) / 8万2500円 (CFRP)

フロントダクトライン
 2万6400円
リアサイドディフューザー
 9万3500円 (FRP) / 18万7000円 (CFRP)
リアアンダーディフューザー
 8万1400円 (FRP) / 17万6000円 (CFRP)
リアガーニースポイラー
 6万8200円 (FRP) / 12万1000円 (CFRP)

純正デザインを尊重しつつ、よりスポーティに。フロントはダウンフォースに有効なリップスポイラーとホイールへの整流効果を高めるディフューザーに加え、ダクト部にラインを入れてフェイスを引き締める。リアは分割タイプのサイド、アンダーディフューザーを追加。純正ウィングにはフロントとの空力バランスを整えるガーニーフラップ状のスポイラーを追加



Power Thro
 7万400円

ブーストアップだけでなく、スロットルレスポンスを高めることもできる。カブラーオン装着の手軽さも魅力だ。スロットルは全25モードが用意され、自身好みのフィーリングに変更できる。社内テストでは31.7ps、43.1Nmのパワー＆トルクアップを実証済みだ



TUNING ECU
 8万8000円

スロットル／燃料／空燃比／点火時期／トルクコントロールなど、各種制御マップの最適化と最大ブースト圧の引き上げにより、ECU単体で約48.4ps、吸排気チューニングとの組み合わせにより約61.4psものパワーアップを実現。ECUの書き換え作業はブリッツ製品取扱店を通じて依頼。作業に掛かる期間は平均1週間以内



FK8 シビックタイプR

戦闘力はいまだ一線級
 FK8用アイテムにも注目!

先代FK8やFK7用のパーツもそろえているブリッツでは、サスキットやパワー系、エアロパーツなどいまだに問い合わせが多い。ここでは一例としてFK8のエアロパーツを紹介

AERO SPEED R-CONCEPT
フロントリップスポイラー
 6万9300円 (FRP) / 13万7500円 (カーボン)
リアガーニッシュ
 4万4000円

アグレッシブな印象のFK8のデザインを活かしつつ、より精悍に見えるエアロパーツがこちら。前方に延長されたフロントリップスポイラーはFRPのほか、カーボンも用意。フロントまわりの整流効果にも期待できる。また、リアバンパーにアクセントを加えるリアガーニッシュも設定。3本出しマフラーのインパクトを強調できるデザインとなっている



FL5 シビックタイプR

構える必要なく、その刺激を堪能できる

究極のストリートスポーツを目指してSA浜松やA PITオートボックス東雲と推し進めた「Road to SFC」でも知られるように、ブリッツのFL5チューニングは、パフォーマンスを高めるだけでなく、日常も非日常域も、その刺激度の高さを余すことなく楽しめるようにつくり込まれている。そんなパーツやメニューを改めて紹介

DAMPER ZZ-R Spec DSC PLUS
 38万5000円



42φ大径ピストンを採用したダンパー ZZ-R車高調 (28万6000円) に、電子制御式の減衰力調整システムを追加したのがスベックDSCプラス。サーキット走行を視野に入れたスポーツ指向のセッティングだ。そのほか、「Road to SFC」でも馴染みのSFCモデル(40万7000円)もラインアップ。パネレートや減衰力特性をマイルドに振って、よりストリート性能を重視しているタイプで、快適派はこちらがオススメ

CARBON INTAKE SYSTEM
 21万7800円



グリル越しに見えるレッドの吸気口がさり気なくそのパフォーマンスを主張する高性能エアインテークシステム。完全車種別設計のダクト&ケースにより、エンジンルームへのベストフィットを実現。熱気を遮断し、吸入温度を適正にコントロールするカーボン製ケースと高効率ステンレスメッシュフィルターの相乗効果で、FL5では約11.2psのパワーアップを実現。エアフィルターは洗浄によって半永久的に使用できる



NUR SPEC CUSTOM EDITION
 28万5000円〜

マフラー本体とテールを別体構造とすることで、テールカラーと突出量を自身好みにカスタマイズできる保安基準適合マフラー。テールは多彩なカラーバリエーションをそろえ、同様のオプション品への交換も可能。メインパイプはφ70、テールはφ101.6×2 / φ114.3×1の3本出しレイアウトを採用